名古屋芸術大学研究紀要第38巻　295～307頁（2017）

バイエル教則本の基礎研究
― 楽典の基礎によるピアノメソードの習得 ―

Basic Study of "Vorschule im Klavierspiel Op. 101" by Beyer
― To Acquire Piano Method by Elements of Musical Grammar ―

山本　和子　*Kazuko Yamamoto*
（人間発達学部）
櫻井　玲子　*Reiko Sakurai*
（人間発達学部）

はじめに

明治初期に日本に紹介されたバイエルピアノ教則本は、ピアノ学習者の入門書として書かれた教材である。

当教則本は、保育者養成機関において、保育士や幼稚園教諭の採用試験の実技課題とされていることがあり、授業の教材として使用される傾向にある。

しかし、基礎習得期間が１年から２年という短期間であるため、ピアノを弾くことの未経験者や初心者にとっては大きな壁に当たることも少なくない。強いストレスを感じて、ピアノを弾くことを諦めてしまう者もいる。

そこで本稿は学生がバイエルを習得する手助けとなる方法として、当教則本の楽典に焦点をあて指導のよりよい手がかりを知ろうとするものである。

１．バイエル教則本について

一般的に「バイエル」といわれる当教則本は、幼い子どものためのピアノ入門書としてバイエル（1806年～1863年）によって作曲され、1850年に出版されたものである。正式名を「ピアノを弾くための入門書 作品101」という。安田寛監修の「『バイエル』原典版探訪　知られざる自筆譜・初版本の諸相」によると、「当時流行していたオペラやオーケストラ曲をバイエルが編曲した小品曲集とともに出版されている。これらの曲を家庭で楽しみながらピアノを弾くための教材として作られた。」[1)]

当教則本の内容は、ピアノ学習者のための基礎（基本的な楽典の説明）・右手のタッチの練習（五本の指が平均的に動かせるよう、タッチが強すぎないことを示唆）・左手のタッチの練習・両手で弾く練習・１番、三手（生徒は右手のみで、はじめのうちは大きな声で拍を数えるよう示唆）・２番、三手（生徒は左手のみ）・３番～11番、四手（生徒も両手）・12番からは生徒のみで両手の練習・65番からは音階の練習という段階的構成となっている。

バイエルは当教則本初版の序文で、「この教則本は、初めてピアノを学習する人ができ

るだけ易しい方法で美しい音楽を奏でられるようになることが目的です。

それは、幼い子どもたちのために、広い範囲にわたらないで、少しずつ段階をおって上達することができるように考えたものです。あまりにも難しい練習や装飾音などで困らせることが目的ではありません。このことはとても大切なことであるといえます。ピアノを始めたばかりの学習者の教則本ですが、おそらくピアノを習い始めて１年から２年間は、毎日練習するのに十分な題材でしょう。今日までこのような教則本はありませんでした。入門書として、ピアノの先生のレッスンに通う前に、音楽的素養のある両親が子どもに手ほどきするときに活用できるものです。

ピアノの学習者が中級レベルになっても役立つことでしょう。」と述べている。

２．楽典について

初心者がピアノの演奏をするとき、最初に見るのが五線上に書かれた音符である。その楽譜を読むための知識の総称を楽典という。「新編　音楽中辞典」には、「音楽に用いる音を楽譜に記するための約束あるいは規律を説明する理論」[2)]と記載されている。

楽典を学習するということは、難しいことと捉えられがちである。しかしこれを怠っていては、ピアノ基礎力は向上し難い。当教則本は、楽典項目が広範囲にわたらず、少しずつ段階を追って学習ができるように作られており、楽譜上の約束事を読み取る力をつけるうえで有効な教則本の一つである。楽典の理解は、楽曲演奏をする上において必要不可欠である。

３．バイエルの楽曲分析

楽典分析を円滑に行うため、以下の８項目を検証することにした。使用楽譜は全音出版「全訳バイエル教則本」を基に表１、表２にまとめた。

１）音域とポジション、および譜表
２）拍子
３）速度
４）調性
５）和音と転調
６）音価
７）小節数と形式
８）楽語と記号

表１

右　手	左　手	調性	番　号	ポジション
２点ハ～２点ト		C:	1	5度音階 C:のポジション
	１点ト～２点ニ	(G:)	2	5度音階 G:のポジション
２点ハ～２点ト	１点ハ～１点ト	C:	3~31	5度音階 C:のポジション
２点ト～３点ニ	１点ト～２点ニ	(G:)	32~34	5度音階 G:のポジション
２点ハ～２点ト	ト～１点ニ	C:	35~36	5度音階 右手C:のポジション 左手G:のポジション
１点ト～２点ニ	ト～１点ニ	(G:)	37~40	5度音階 G:のポジション
２点イ～３点ホ	１点イ～２点ホ	a:	41~43	5度音階 a:のポジション
３点ハ～３点ト	２点ハ～２点ト	C:	44	5度音階 C:のポジション オクターブ記号の読譜
２点ハ～２点ト	１点ハ～１点ト	C:	45	5度音階 C:のポジション
２点ハ～２点ト	ロ～１点ト	C:	46.48~50.52	左手の指広げ
２点ハ～２点ト	ト～１点ホ	C:	47	左手の指広げ
２点ハ～２点ト	ト～１点ト	C:	51.53	左手の指広げ
２点ハ～３点ハ	ト～１点ト	C:	54	左手𝄞𝄢の併用　左手の指広げ
２点ハ～２点ト	ト～１点ト	C:	55.59	左手𝄞𝄢の併用　左手の指広げ　同音の指換え (59)
１点ト～２点ト	ト～１点ニ	(G:)	56	左手𝄞𝄢の併用　右手の指広げ
１点ト～２点ホ	ト～１点ホ	(G:)	57	左手𝄞𝄢の併用　両手の指広げ
２点ハ～２点ト	ロ～１点ト	C:	58	左手𝄞𝄢の併用　左手の指広げ
１点イ～２点ト	イ～１点ト	a:	60	左手𝄞𝄢の併用　a:~C:のポジション移行
２点ト～３点ト	ト～１点ニ	(G:)	61	右手の指広げ
２点ト～３点イ	ハ～２点ニ	C:	62	様々な５度音階の移行　左手𝄞𝄢の併用
				オクターブ記号の読譜
２点ト～３点ニ	１点ト～２点ニ	(G:)	63~64	５度音階G:のポジション
１点ろ～４点へ	は～２点ト		65~	C: G: D: A: E: F: B: a:の音階　半音階　臨時記号
				両手ともに𝄞𝄢の併用

※５度音階・・・主音１、上主音２、中音３、下属音４、属音５の指で音と指を固定して弾く。

表 2

No.	拍　子	速　度	調性	和　音									音　価	小節数	形　式	楽　語	新しくでてきた記号、強弱記号など
1　連弾	𝄴　3/4	Tempo Moderato	C:	I	V	V_7							𝅝 𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥 𝄽	8	変奏曲	legato	スラー
2　連弾	𝄴　3/4 2/4	Moderato	(G:)	I	V_7	$\check{V}_7$							𝅝 𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥 𝄽	16	変奏曲		反復記号　複縦線
3　連弾	𝄴	Moderato	C:	I	II	IV	V_7	$\check{V}_7$					𝅝 𝄻	18	1部形式		
4　連弾	𝄴		C:	I	II	IV	V_7	$\check{V}_7$					𝅗𝅥 𝄻 𝄻	12	1部形式		
5　連弾	𝄴		C:	I	II	IV	V_7	$\check{V}_7$					𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥 𝄽	12	1部形式		
6　連弾	3/4		C:	I	V_7								𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥 𝄻	12	1部形式		
7　連弾	𝄴		C:	I	V_7								𝅝 𝅗𝅥 𝄻 𝄽	8	1部形式 カノン		
8　連弾	𝄴		C:	I	V_7								𝅝 𝅗𝅥 𝅗𝅥	24	2部形式		
9　連弾	3/4	Allegretto	C:	I	V_7								𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥	48	2部形式		
10　連弾	3/4	Comodo	C:	I	V	V_7							𝅗𝅥. 𝅗𝅥	24	3部形式		
11　連弾	𝄴	Moderato	C:	I	V_7								𝅝 𝅗𝅥 𝅗𝅥	24	2部形式		
12	𝄴	Moderato	C:	I	V_7								𝅝 𝅗𝅥 𝅗𝅥	8	1部形式		
13	𝄴		C:	I	V_7								𝅝 𝅗𝅥 𝅗𝅥	8	1部形式		
14	𝄴		C:	I	V								𝅝 𝅗𝅥	12	1部形式 カノン		
15	𝄴		C:	I	V_7								𝅝 𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥	24	2部形式		メッゾスタッカート
16	2/4	Moderato	C:	I	V_7								𝅗𝅥 𝅗𝅥	24	2部形式	legato	
17	𝄴	Allegretto	C:	I	V_7								𝅝 𝅗𝅥 𝅗𝅥 𝄻	24	3部形式	legato	
18	3/4	Allegretto	C:	I	V_7								𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝄻	24	2部形式		
19	3/4	Allegretto	C:	I	V_7								𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥	24	2部形式		
20	𝄴	Allegretto	C:	I	V_7								𝅝 𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥	24	2部形式	legato	

21	𝄴	Moderato	**C:**	I	V_7								𝅝 𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅘𝅥	24	2部形式	legato	
22	𝄴		**C:**	I	V_7								𝅗𝅥. 𝅘𝅥 𝅘𝅥 𝅘𝅥	24	2部形式 カノン		
23	𝄴	Moderato	**C:**	I	V_7								𝅝 𝅗𝅥 𝅘𝅥	24	2部形式		
24	𝄴		**C:**	I	V_7								𝅝 𝅗𝅥 𝅘𝅥	24	2部形式	legato	
25	3/4		**C:**	I	V_7								𝅗𝅥. 𝅘𝅥 𝅘𝅥	24	2部形式		
26	𝄴	Moderato	**C:**	I	V_7								𝅝 𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅘𝅥	24	2部形式	legato	
27	𝄴		**C:**	I	V_7								𝅝 𝅗𝅥 𝅘𝅥	24	2部形式 カノン		
28	𝄴		**C:**	I	V_7								𝅝 𝅗𝅥 𝅘𝅥	16	2部形式		
29	𝄴		**C:**	I	V_7								𝅝 𝅗𝅥 𝅘𝅥	24	2部形式 カノン		タイ
30	𝄴		**C:**	I	V_7								𝅝 𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅘𝅥 𝅘𝅥 𝄾	24	2部形式		
31	𝄴		**C:**	I	V_7								𝅝 𝅗𝅥 𝅘𝅥	24	2部形式	legato	
32　連弾	3/4	Andante	**(G:)**	I	V	V_7	$\check{V}_7$						𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥	40	3部形式	dolce（教師）	
33　連弾	3/4	Allegretto	**(G:)**	I	V_7								𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥	24	2部形式		
34　連弾	3/4	Andante	**(G:)**	I	V	V_7	VI	$\check{V}_7$					𝅗𝅥. 𝅗𝅥	40	3部形式		
35	𝄴	Moderato	**C:**	I	V_7								𝅝 𝅗𝅥 𝅘𝅥	32	3部形式	sempre legato	
36	𝄴		**C:**	I	V_7								𝅝 𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅘𝅥	32	3部形式		
37	3/4	Allegretto	**(G:)**	I	V								𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥	40	3部形式		
38	𝄴	Moderato	**(G:)**	I	V	V_7							𝅝 𝅗𝅥 𝅘𝅥	24	2部形式	legato	
39	𝄴		**(G:)**	I	V_7								𝅝 𝅗𝅥 𝅘𝅥	16	2部形式		
40	𝄴		**(G:)**	I	V_7								𝅗𝅥 𝅗𝅥	24	2部形式 カノン		
41　連弾	𝄴	Allegretto	**a:**	I	V_7		**C:**	I	V_7				𝅝 𝅗𝅥	32	3部形式	legato	
42　連弾	3/4	Andante	**a:**	I	V_7		**C:**	I	V_7				𝅗𝅥. 𝅗𝅥	24	2部形式	dolce（教師）	

43　連弾	𝄴	Moderato	a:	I	V_7								𝅝 𝅗𝅥 𝅗𝅥	24	2部形式		
44　連弾	𝄴	Moderato	C:	I	IV	V	V_7	$\overset{\vee}{V}_7$					𝅝 𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥 ♪	38		sempre legato	
																legato（教師）	
45	𝄴	Moderato	C:	I	V_7								𝅝 𝅗𝅥 𝅗𝅥 ♪	16			
46	𝄴	Comodo	C:	I	V								𝅝 𝅗𝅥 𝅗𝅥 𝄾 𝄿	24	2部形式	legato	1.ma　2.de
47	𝄴	Moderato	C:	I	V_7								𝅗𝅥 𝅗𝅥 ♪	10	3部形式		
48	3/4	Allegretto	C:	I	V								𝅗𝅥. 𝅗𝅥. 𝅗𝅥 ♪	24	2部形式		
49	3/4	Allegretto	C:	I	IV	V							𝅗𝅥. 𝅗𝅥 ♪	24	3部形式		
50	3/4	Comodo	C:	I	V								𝅗𝅥 𝅗𝅥 ♪	20	3部形式	legato	
51	𝄴	Moderato	C:	I	V_7								𝅗𝅥 𝅗𝅥 ♪	20	3部形式		
52	6/8	Allegretto	C:	I	V								𝅗𝅥. 𝅗𝅥 ♪ 𝄿	24	2部形式	legato	
53	2/4	Moderato	C:	I	V	V_7							𝅗𝅥 ♪ 𝄿	8	1部形式		*f*
54	2/4	Comodo	C:	I	V	V_7							𝅗𝅥 𝅗𝅥 ♪ 𝄿	8	1部形式		へ音記号
55	𝄴	Moderato	C:	I	IV	V	V_7						𝅝 𝅗𝅥 𝅗𝅥. ♪ 𝄿	32	3部形式	legato	*mf*
56	3/4	Allegretto	(G:)	I	V_7								𝅗𝅥. 𝅗𝅥 ♪	16	カノン		
57	3/4	Allegretto	(G:)	I	IV	V	V_7						𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥 ♪	24	2部形式		*p*
58	𝄴	Moderato	C:	I	V	V_7							𝅝 𝅗𝅥 𝅗𝅥 ♪	24	2部形式	legato	cresc.（記号）decresc.（記号）dim.（記号）
59	3/8	Allegretto	C:	I	II	V_7							𝅗𝅥. 𝅗𝅥 ♪ 𝄿	32	2部形式	legato	アクセント（>）同音の指換え
60	3/4	Comodo	a:	I	V_7		C:	I	V_7				𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥 ♪ ━ 𝄽	24	3部形式 カノン		平行調 cresc.(文字）decresc.(文字）dim.(文字）
61	𝄴	Comodo	(G:)	I	V_7								𝅝 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅗𝅥 ♪ 𝄽	16	2部形式	dolce　legato	
62	3/4	Allegro moderato	C:	I	II	V							𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥 ♪ 𝄽 𝄿	48	2部形式		スタッカート
63　連弾	3/4	Allegretto	(G:)	I	IV	V_7	$\overset{\vee}{V}_7$						𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥 ♪ 𝄽	44			スタッカティッシモ

64　連弾	3/4	Comodo	(G:)	I	V7								𝅗𝅥.𝅗𝅥.𝅗𝅥♪	28	2部形式 コーダ	dolce legato	
65	𝄴	Moderato	C:	I	V7								𝅝𝅗𝅥𝅗𝅥♪	16	カノン	sempre legato	
66	6/8	Allegretto	C:	I	IV	V	V7						𝅗𝅥.𝅗𝅥.♪𝄾	32	3部形式	dolce legato	
67	2/4　弱起	Moderato	C:	I	V7								𝅗𝅥𝅗𝅥.𝅗𝅥♪𝄾	24	2部形式		
68	𝄴	Moderato	(G:)	I	V7								𝅝𝅗𝅥𝅗𝅥♪𝄽𝄽	16	1部形式		
69	𝄴		(G:)	I	V7								𝅝𝅗𝅥𝅗𝅥♪𝄽𝄽	16	1部形式		
70	𝄴	Moderato	G:	I	V7								𝅝𝅗𝅥𝅗𝅥𝄽𝄽	8	1部形式	dolce legato	ト長調の調号
71	𝄴		G:	I	V7								𝅝𝅗𝅥𝅗𝅥𝄽𝄽	8	1部形式		
72	3/4	Comodo	G:	I	IV	V7							𝅗𝅥𝅗𝅥.𝅗𝅥♪𝄽	24	2部形式	dolce legato	
73	𝄴	Moderato	C:	I	IV	V	V7	V̊7	V̊7				𝅗𝅥.𝅗𝅥𝅗𝅥♪𝄽𝄽	24	2部形式	dolce	臨時記号
74	𝄴	Moderato	G:	I	IV	V7							𝅝𝅗𝅥𝅗𝅥♪	24	2部形式	sempre legato	
75	3/4	Moderato	D:	I	II	IV	V	V7					𝅗𝅥.𝅗𝅥𝅗𝅥♪𝄽𝄽	24	2部形式		ニ長調の調号
76	𝄴	Allegro moderato	G:	I	IV	V7							𝅗𝅥𝅗𝅥♪𝄽	24	2部形式		
77	3/4	Moderato	C:	I	II	V	V7	V̊					𝅗𝅥.𝅗𝅥𝅗𝅥♪𝄽	24	3部形式	poco	
78	6/8	Allegretto	G:	I	IV	V7		D:	I	IV	V7		𝅗𝅥.𝅗𝅥.𝅗𝅥♪𝄾	40	3部形式	dolce legato	
79	3/4	Comodo	A:	I	V7								𝅗𝅥.𝅗𝅥𝅗𝅥♪𝄽	24	2部形式		
80	3/4	Allegretto	D:	I	V7		G:	I	IV	V7			𝅗𝅥𝅗𝅥♪𝄽𝄾	40	3部形式	leggiero	下属調（転調）　前打音
81	3/4　弱起	Allegretto	A:	I	V7		D:	I	IV	V7			𝅗𝅥𝅗𝅥.𝅗𝅥♪𝄽	32	3部形式	leggiero	イ長調の調号
82	3/4　弱起	Allegretto	E:	I	V7								𝅗𝅥𝅗𝅥♪𝄽𝄾	45	3部形式 コーダ	dolce	ホ長調の調号
83	𝄴	Allegretto	C:	I	V7								𝅝𝅗𝅥𝅗𝅥♪𝄽𝄽𝄽	20	2部形式 カノン		
84	6/8	Allegretto	C:	I	II	IV	V7	VI					𝅗𝅥.♪𝄽𝄾	17	2部形式 カノン		フェルマータ
85	2/4	Allegretto	F:	I	IV	V	V7						𝅗𝅥𝅗𝅥♪	16	2部形式 カノン	dolce legato	ヘ長調の調号

86　連弾	𝄴	Moderato	C:	I	Ⅳ	Ⅴ	Ⅴ$_7$						𝅝𝅗𝅥 𝅗𝅥 𝅘𝅥𝅮 𝅘𝅥𝅮	22		legato	
87　連弾	𝄴	Allegro moderato	C:	I	Ⅱ	Ⅴ$_7$							𝅗𝅥 𝅘𝅥𝅮 𝅘𝅥𝅮 𝄽 𝄾	24	2部形式 カノン		
88	𝄴	Moderato	G:	I	Ⅳ	Ⅴ$_7$							𝅝𝅗𝅥 𝅗𝅥 𝅘𝅥. 𝅘𝅥𝅮 𝅘𝅥𝅮 𝄾	24	2部形式	dolce	*pp*
89	3/4　弱起	Andante	C:	I	Ⅴ	Ⅴ$_7$		G:	I	Ⅴ	Ⅴ$_7$		𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅘𝅥. 𝅘𝅥𝅮 𝄾 𝄿	24	3部形式	dolce legato	属調
90	6/8　弱起	Allegretto	C:	I	Ⅴ	Ⅴ$_7$							𝅗𝅥. 𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅘𝅥𝅮 𝄽 𝄾	48	3部形式	legato marcato	
91	2/4	Allegretto	a:	I	Ⅴ$_7$		C:	I	Ⅴ$_7$				𝅗𝅥 𝅗𝅥 𝅘𝅥𝅮 𝅘𝅥𝅮 𝄽 𝄾	40	3部形式	dolce	
92	3/8	Comodo	F:	I	Ⅳ	Ⅴ	Ⅴ$_7$						𝅗𝅥 𝅗𝅥 𝅘𝅥𝅮	16	2部形式	dolce legato	
93	3/8	Moderato	a:	I	Ⅴ$_7$		C:	I	Ⅴ$_7$				𝅗𝅥. 𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅘𝅥𝅮 𝄾	16	2部形式	marcato	
94	3/8	Allegretto	F:	I	Ⅴ	Ⅴ$_7$							𝅗𝅥 𝅘𝅥𝅮 𝅘𝅥𝅮 𝄽 𝄾	16	2部形式	dolce legato	シンコペーション
95	3/8	Allegretto	C:	I	Ⅳ	Ⅴ$_7$							𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅘𝅥𝅮 𝄾	32	2部形式		
96	3/8	Allegro	F:	I	I	Ⅳ	Ⅴ$_7$		C:	I	Ⅴ		𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅘𝅥𝅮 𝅘𝅥𝅮 𝄾	64	3部形式		
97	3/8	Allegretto	C:	I	Ⅴ								𝅗𝅥. 𝅘𝅥𝅮 𝅘𝅥𝅮 𝄾	40	3部形式		アクセント（▲）
98	3/8　弱起	Allegro	F:	I	Ⅳ	Ⅴ$_7$							𝅗𝅥 𝅘𝅥. 𝅘𝅥𝅮 𝅘𝅥𝅮 𝄾	48	2部形式		
99	𝄴	Adagio	B:	I	Ⅴ$_7$								𝅝𝅗𝅥 𝅗𝅥 𝅘𝅥𝅮 𝅘𝅥𝅮 𝄾	16	2部形式	dolce legato	変ロ長調の調号　複前打音
100	3/8	Allegro	F:	I	Ⅳ	Ⅴ$_7$		C:	I	Ⅴ			𝅗𝅥. 𝅘𝅥𝅮 𝅘𝅥𝅮 𝄾	72	3部形式		
101	𝄴	Allegro moderato	C:	I	Ⅱ	Ⅴ	Ⅴ$_7$						𝅝𝅗𝅥 𝅗𝅥 𝅘𝅥𝅮 𝅘𝅥𝅮 𝄽 𝄾 𝄿	24	3部形式		
102	𝄴	Moderato	F:	I	Ⅳ	Ⅴ	Ⅴ$_7$	Ⅴ̆					𝅗𝅥 𝅗𝅥.. 𝅗𝅥 𝅘𝅥𝅮 𝅘𝅥𝅮 𝄾 𝄿	20	3部形式	dolce legato	音を保持しての指換え
103	3/4	Allegro moderato	C:	I	Ⅱ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅴ$_7$					𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥 𝅘𝅥𝅮 𝄽 𝄾 𝄿	20	3部形式	dolce legato	
104	3/8	Allegretto	F:	I	Ⅱ	Ⅴ	Ⅴ$_7$		C:	I	Ⅳ	Ⅴ$_7$	𝅗𝅥. 𝅘𝅥. 𝅘𝅥𝅮 𝅘𝅥𝅮 𝄾 𝄿	48	2部形式	dolce legato	
105	𝄴	Allegro moderato	C:	I	Ⅱ	Ⅴ	Ⅴ$_7$	Ⅵ	Ⅴ$_7^{VI}$				𝅝𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥 𝅘𝅥𝅮 𝅘𝅥𝅮 𝄽 𝄾	32	2部形式		半音階
106	3/4	Allegro moderato	C:	I	○Ⅱ$_7$	Ⅳ	Ⅴ	Ⅴ$_7$	Ⅴ$_7^{Ⅳ}$	Ⅴ̆$_7$			𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥 𝅘𝅥𝅮 𝄽 𝄾	96	3部形式		

４．考察

バイエル１番から106番の楽曲８項目について分析を進めた結果、次のことを得た。

１）音域とポジション、および譜表（表１）

・１番～45番

音域はト～３点トである。

ポジションはCdur、Gdur、amollの主音から属音のみを奏する。

譜表は右手、左手それぞれト音譜表のみである。

・46番～53番

音域はト～２点トである。

ポジションは左手の指広げが加わる。

譜表はト音譜表のみであるが、ヘ音譜表への導入が始まる。

・54番～59番

音域はト～３点ハである。

ポジションは右手の同音の指換えと指広げが加わる。

譜表は左手にヘ音譜表が加わり、ト音譜表を併用する。

・60番～64番

音域はハ～３点イである。

ポジションは５度音階（主音から属音）の移行が始まる。

譜表は右手はオクターブ記号、左手はト音譜表とヘ音譜表を併用する。

・65番以降

音域は１点ろから４点へである。

ポジションはCdur、Gdur、Ddur、Adur、Edur、Fdur、Bdur、amoll、半音階と多岐にわたる。

譜表は右手、左手ともにト音譜表とヘ音譜表を併用する。

２）拍子（表２）

・４分の４拍子は55曲で当教則本の前半に多く使われる。

・４分の３拍子は32曲。

・４分の２拍子は８曲。

・８分の３拍子は６曲で、特に当教則本の終盤（95番～98番、100番、104番）に配置する。

・８分の６拍子は６曲で、この拍子の後に４分の２拍子が配置していることが多い。これは複合拍子と単純拍子の比較をしていると考える。

・弱起の曲は６曲である。

３）速度（表２）

・１番～61番

Moderato、Allegretto、Comodo、Andante と比較的中間の速度で弾くように指示している。

・62番以降

Allegro moderato、Allegro,、Adagio が加わりより速度の広がりを指示している。

4）調性（表２）

・１番～64番

Cdur は47曲、調号のない Gdur は13曲、amoll は４曲を提示している。

・65番以降

Cdur は17曲、調号のない Gdur は２曲、Gdur は７曲、Ddur は２曲、Adur は２曲、Edur は１曲、Fdur は８曲、Bdur は１曲、amoll（旋律短音階）は２曲を提示している。♯系の調号４種を学習した後、♭系の調号２種を学習する。つまり Edur の後に Fdur の学習をする構成となる。Bdur は唯一99番のみである。

5）和音と転調（表２）

・典型的な和声音楽であり、12番から43番までは対位法的である。46番からは分散和音が軸となり、73番からは借用和音が、80番からは調号を用いた転調が始まる。

・和音については副三和音や借用和音が使われるが、概ね主要三和音で構成される。とりわけトニカ、ドミナントのカデンツが軸となる。

・転調については平行調、下属調、属調の基本的な近親調である。

また、左手にはバス保持音の奏法が加わり音楽的に複雑化している。

6）音価（表２）

・１番～43番

全音符・付点２分音符・２分音符・４分音符・全休符・２分休符・４分休符の基本形である。

・44番以降

44番から８分音符、48番から付点４分音符、74番から８分音符の３連符、89番から16分音符、102番で複付点４分音符と多種多様となる。

7）小節数と形式（表２）

・１部形式（14曲）は８小節から16小節で作曲され、概ね当教則本の前半に配置している。

・２部形式（55曲）は16小節から48小節で作曲され、24小節構成の曲は36曲に及ぶ。

・３部形式（30曲）は10小節から98小節で作曲される。

・カノン形式（13曲）は８小節から24小節で作曲される。

・変奏曲（５曲）は１番から使われる。

8）楽語と記号（表２）

・legato が教則本の全般にわたって37回、他に教師の楽譜に１回表記している。

・dolce は61番より20回、他に教師の楽譜に２回表記している。
・sempre は４回、marcato, leggiero 各２回、poco は１回表記している。
・２番から複縦線と反復記号、15番でメッゾスタッカート奏法、29番で小節をまたぐタイとスラーの違い、44番でオクターブ記号、55番からは強弱記号の学習が始まる。
・77番からは新たな楽語が増え、80番では装飾音が加わり音楽表現と奏法の学習が始まる。

５．考察のまとめ

バイエル教則本はポジションによって大きく２つに分けることができる。（表１）

１番から64番までを前半、65番から106番までを後半とし、前半は、音階の主音から属音までの５音のみで音と指を固定している。指導者は学習者に読譜と鍵盤の位置をしっかり理解させることが大切である。

理解の早い学習者には、この固定された音と指を使って他のポジションへ移動することにより、簡単な移調奏の練習に応用することができる。これは、保育士や幼稚園教諭を目指す者にとり重要な基礎を作ることとなる。

音価は基本形に限られているため、容易に声を出して数えながら学習できるように作られている。

カデンツについては、主要三和音が多用されており、特にトニカ、ドミナントの組み合わせが目立つ。このような基本的なハーモニーを反復して聴くことにより、例えば導音が主音へと導くように音の意味や和声感を養うことができる。

また、指導者との連弾が18曲組み込まれているが、これはハーモニーを聴くと同時にバランス感覚が養われる。そして、アンサンブルの経験から正しい拍子感を身につけることができる。特に日本人の不得手な３拍子を正しく理解させることに役立てることができると考える。

以上のことから、前半は初心者にとって取り組みやすく、限定的な範囲の読譜で自然に反復練習が身につくことのできるピアノの導入編のエチュードとなっている。

学習者の理解度によっては、抜粋あるいは省略できる曲もあると考える。

後半は音階が導入されるため、ポジションの移動が始まり音域が広範囲になってくる。99番の Bdur 以外の楽曲は、主音が白鍵から始まる Cdur、Gdur、Ddur、Adur、Edur、Fdur と amoll に限られている。それは１の指から始める音階で徐々に調号が増えていく。Edur までは右手の音階を弾く指順は１→２→３→１→２→３→４→５である。この基礎的な音階練習は重要である。初心者には「指くぐり」は難しいため反復練習が必要である。Edur（82番）は２オクターブの音階練習で指順が１→２→３→１→２→３→４→１→２→３→１→２→３→４→５と複雑になる。その後、Fdur の音階の指順は１→２→３

→4→1→2→3→4へと変わる。Bdur（99番）に限っては、唯一、主音が黒鍵で2の指から始まる音階をゆっくり（Adagio）練習できるように作られている。つまり、易しいレベルから難しいレベルへと導いていると考える。

65番から82番までは基礎編と位置付けられる。音価は1拍を3分割（3連符）、4分割（16分音符）にしたリズムが加わって難易度が上がる。ワルツの軽快さ（80番から82番）や複合拍子（78番）の音楽の揺れの表現や、装飾音、同音連打、転調など楽曲としての音楽表現と奏法が構築されていく。

83番から99番までは更に発展をし、最後の連弾（87番）では生徒と指導者との双方のメロディーを呼応させ、まるで会話を思わせるような表情豊かな楽曲である。曲の中間部にホルン5度の響きを織り込んで（90番）、メロディーラインを豊かに作り上げ一段と音楽表現の質が高められている。

100番以降は音域も67音の広範囲に拡大され、これまで学習した初級の総まとめとした音楽的要素が盛り込まれていく。

後半から楽曲が複雑になっていくため、初心者には読譜が困難になり悩む者も少なくない。そのため、カデンツにおいてはトニカ、ドミナント、サブドミナントなどを色分けすることによって、どのような和音が使われているかを視覚的に理解することができる。

楽曲の形式においても、A、B、Cのような簡単な符合をつけて、2部形式や3部形式の楽曲の成り立ちを明記することで練習のポイントが掴みやすくなると考える。

奏法においては1番からlegatoの記載があることにも注目したい。全般的にlegatoとdolceを要求している。これは、単に機械的、無味乾燥に指を動かすことを目標としているのではないと考える。このように「音楽的な奏法を教授する」ことにより、正しいピアノの奏法を身につけることができる。

基本的な楽典を段階的に理解することによって読譜力がつき、ピアノ基礎能力が養われると確信する。

おわりに

保育者養成機関におけるピアノの基礎習得期間は、1年から2年の短期間である。そのためポイントを押さえた抜粋曲で指導されることが多いが、より有効な指導をするために指導者は当教則本の全体を明確に把握することが重要である。そして、学習者にわかりやすく工夫をしながら楽典の理解を導き楽譜をしっかり読み取ることのできる知識をつけることがピアノの基礎力を伸ばす素養になると確信する。

今回の研究は当教則本の全体像を考察したのみにすぎない。次回は学習者が弾きにくい

とする楽曲の問題点の研究を進めたい。

注

1）安田寛監修　小野亮佑・多田純一・長尾智絵著　『バイエル』原典探訪　知られざる自筆譜・初版譜の諸相　第1刷　音楽之友社　東京　2016年4月10日　p. 008

2）海老沢敏・上参郷祐康・西岡信雄・山口修監修　新編 音楽中辞典　第1刷　音楽之友社　東京　2002年3月10日　p. 134

参考楽譜

全音楽譜出版社出版部編　全訳バイエルピアノ教則本　全音楽譜出版社　東京